

2006年12月期 第3四半期決算説明会

2006年10月26日

株式会社 ジュピターテレコム

目次

- 2006年第3四半期決算 連結業績概況
- オペレーションの状況
- 当四半期の事業戦略ハイライト
- 2006年通期 業績見通し
- 連結業績の財務面について

2006年第3四半期 連結業績 ハイライト

- **ボリューム拡大: 顧客獲得は引続き2ケタ成長を実現**
 - RGU合計+17%、総加入世帯数+15%
 - 新サービス「HDR」引続き好調 7万件突破(10月速報値)
 - 新規取得エリアでのJ:COM化進展
 - M&A実現 : (株)ケーブルネット下関連結化
ケーブルウエスト(株)取得でケーブル業界シェア35%
- **バリュー向上: バンドル率、ARPUともに着実に上昇**
 - バンドル率 1.73 1.77、ARPU*1 7,756円(+264円)
- **加入増、ARPU増に加えコスト抑制により、
営業収益+18%、営業利益+40%、税前利益+61%と
中間期に続き2ケタの増収・増益*2**

*1: ARPUは、1 - 9月における加入世帯当たり平均月次収益

*2: 純利益を除く。上記業績数値にはケーブルウエストグループは含まず。

2006年第3四半期連結業績(オペレーショナルハイライト)

[米国会計基準]

Volume+Value戦略の積極推進により二桁成長を実現

(千未満四捨五入)

[連結運営会社ベース*1]	06年/9月末	05年/9月末	増減	
			(+/-)	(%)
総加入世帯数 (単位:千世帯)	2,141	1,865	276	15%
サービス別加入世帯数				
ケーブルテレビ	1,778	1,574	204	13%
うちデジタル	843	494	349	71%
高速インターネット接続	953	792	161	20%
電話	1,053	854	198	23%
RGU合計 (単位:千)	3,784	3,221	563	17%
ARPU*2 (単位:円)	7,756	7,492	264	

*1:上記業績数値にはケーブルウエストグループは含まず。

*2: ARPUは、1 - 9月における加入世帯当たり平均月次収益

2006年第3四半期連結業績（財務ハイライト）

[米国会計基準]

Volume+Value戦略推進により二桁増収・増益（純利益を除く）

(億円未満四捨五入)

経営成績 ^{*1}	06年/1-9月 (億円)	05年/1-9月 (億円)	増減	
			(億円)	(%)
営業収益	1,579	1,334	245	18%
営業利益	248	177	71	40%
税引前利益	220	137	83	61%
純利益	137	140	3	2%
OCF ^{*2}	623	518	105	20%

*1:上記経営成績にはケーブルウエストグループの数値は含まず。

*2:OCF(オペレーティングキャッシュフロー) = 営業収益 - 番組・その他営業費用 - 販売費及び一般管理費

財政状態 ^{*3}	06年/9月末 (億円)	05年/12月末 (億円)	増減
株主資本 (億円)	2,654	2,514	140
株主資本比率	45%	49%	4%
ネット有利子負債 (億円)	2,154	1,498	656
D/Eレシオ	0.81	0.60	0.21

*3:上記財政状態には、2006年9月末時点のケーブルウエストグループの数値を含む。

- オペレーションの状況
- (全運営会社)
*ケーブルウエストグループを除く

RGU合計と総加入世帯数(前年同期比)

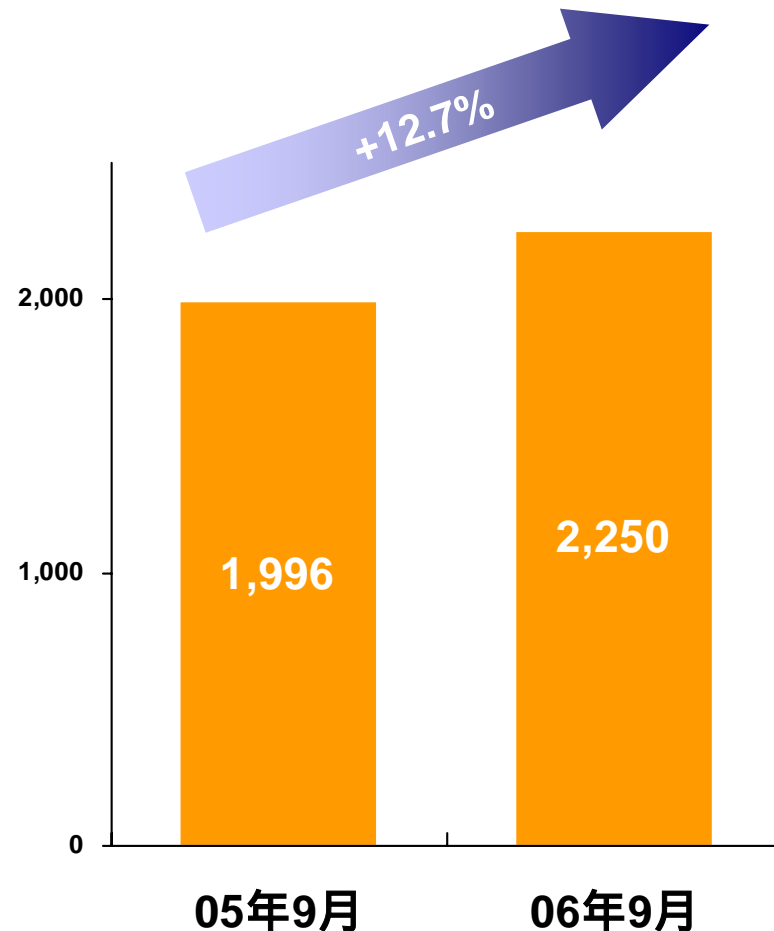
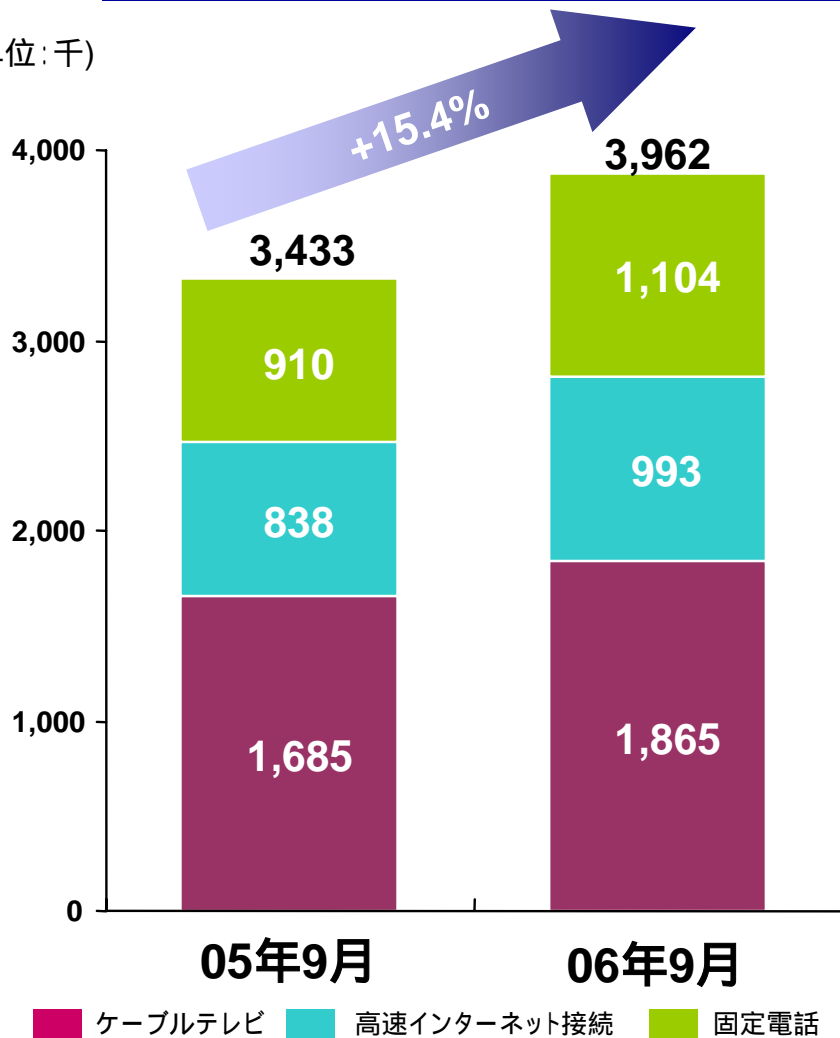
(単位:千)

(全運営会社ベース*1)

RGU(サービス提供数)合計

総加入世帯数

(単位:千)

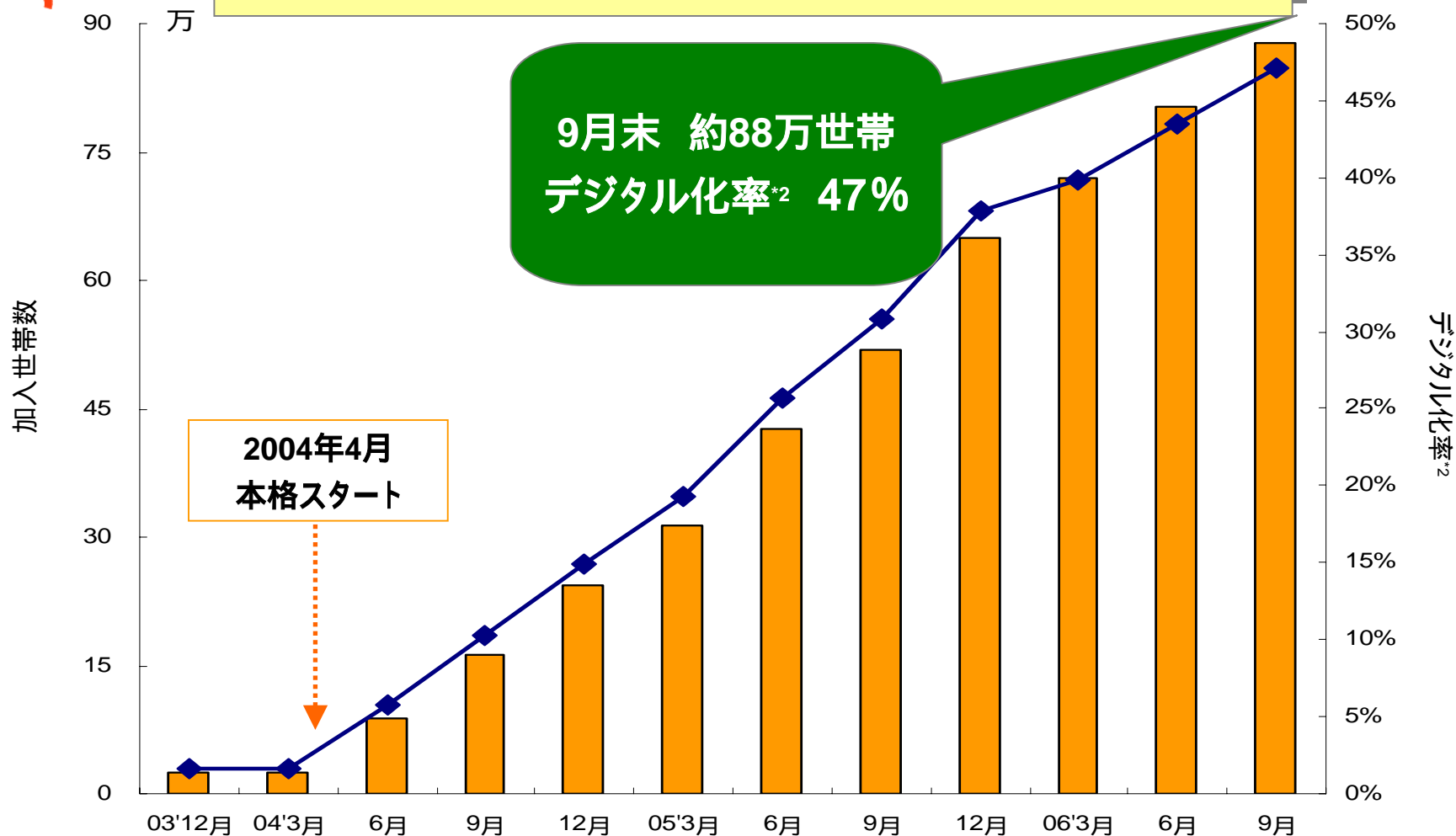


*1: ケーブルウエストグループの数値は含まず。

J:COM TV デジタル 加入世帯数

(全運営会社ベース^{*1})

ARPU上昇の牽引役として順調に増加



2004年4月
本格スタート

9月末 約88万世帯
デジタル化率^{*2} 47%

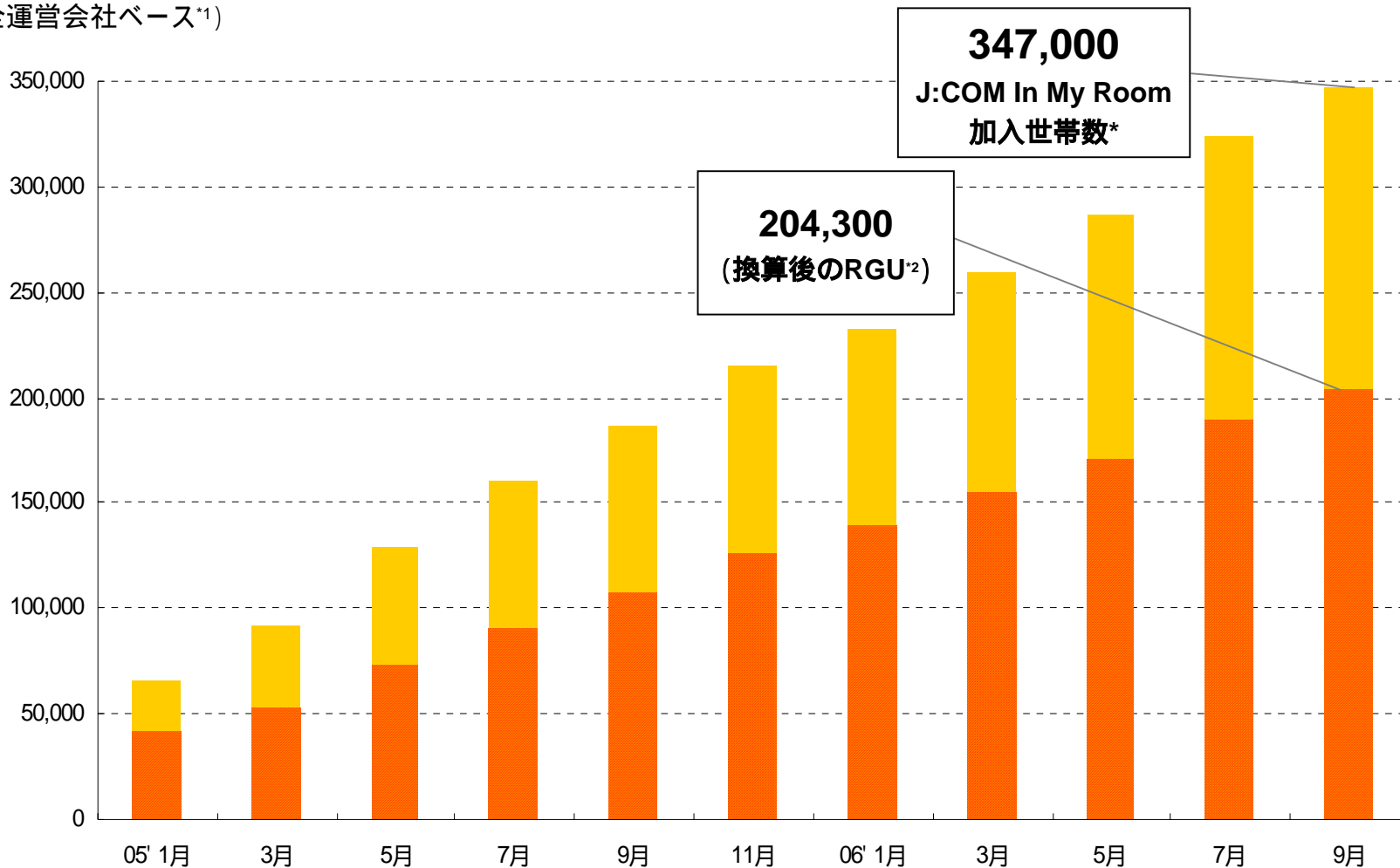
^{*1}: 2003年、2004年は当時資本関係のない調布ケーブルテレビジョン(株)(調布局)を除く。2006年9月数値にはケーブルウエストグループの数値は含まず。

^{*2}: デジタル化率は、ケーブルテレビ加入世帯におけるデジタルサービス加入世帯の割合を示す。

集合住宅一括契約 「J:COM In My Room」

約300万の無料再送信世帯の有料顧客化を促進

(全運営会社ベース^{*1})



*1: ケーブルウエストグループの数値は含まず。

*2: 加入者数およびRGU (EBU換算後) には、ケーブルテレビサービスと高速インターネットサービスを含む。

バンドル化の進展

(全運営会社ベース*1)

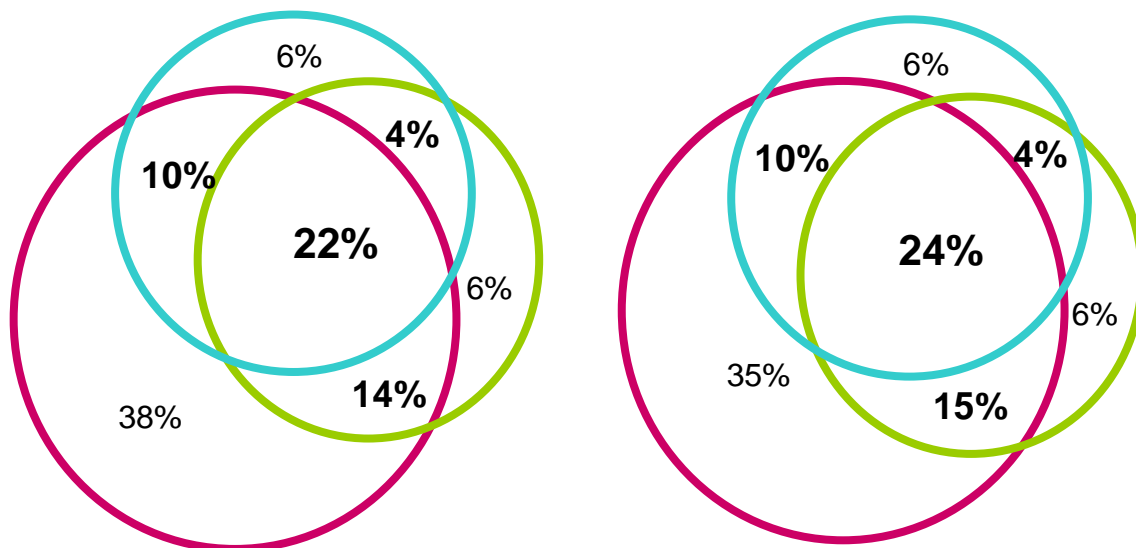
全体の半数以上が複数サービス加入世帯

J:COM TV J:COM NET J:COM PHONE

全運営会社*1

05年9月末

06年9月末



トリプル化率が30%超の
エリア(06年9月末)

- J:COM東関東局
- J:COM西東京局
- J:COM相模原・大和局
- J:COMさいたま(北エリア)
- J:COM宝塚・川西
- J:COM南大阪
- J:COMりんくう

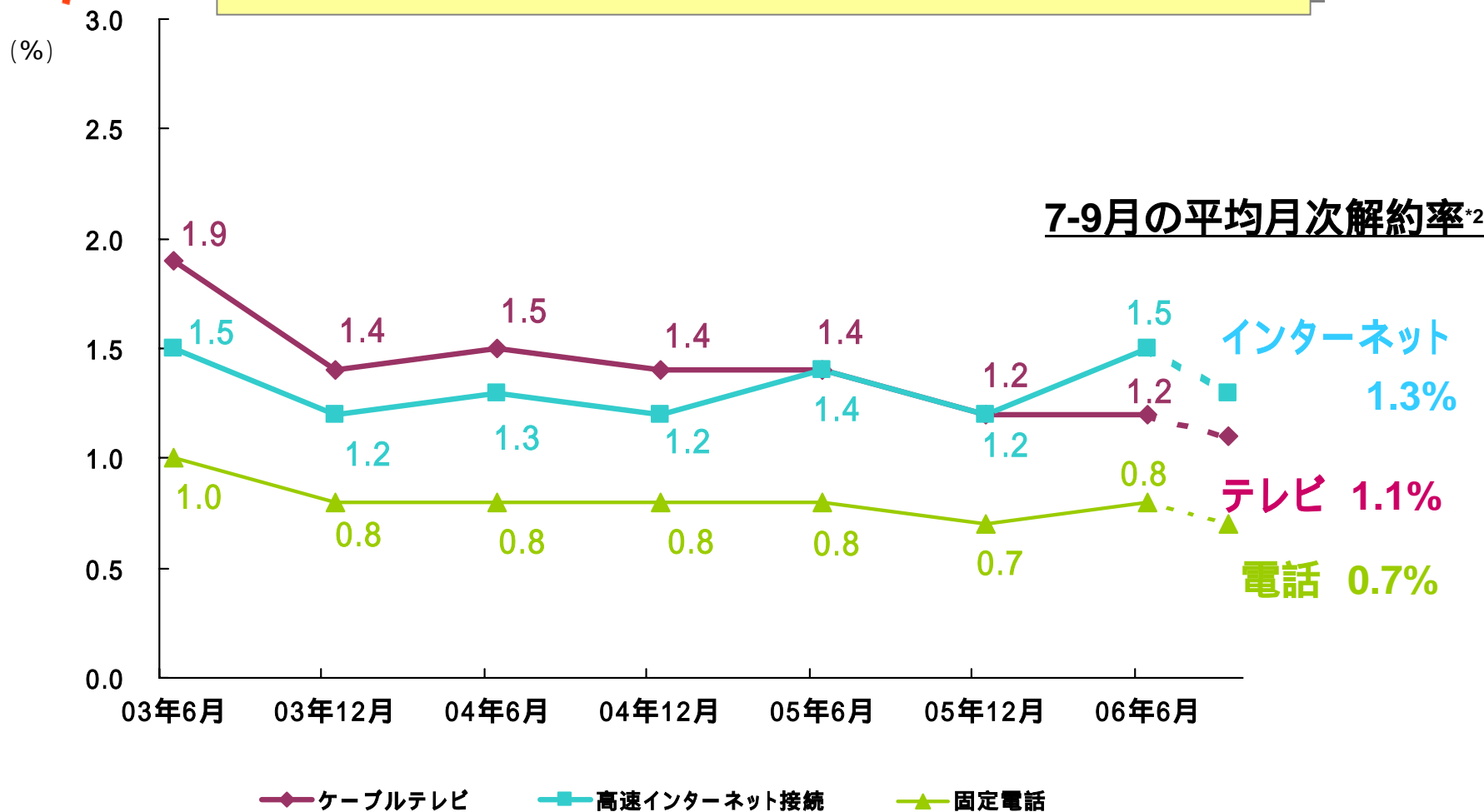
グループ全体を
早期に30%台へ

*1: ケーブルウエストグループの数値は含まず。

サービス別平均月次解約率の推移

(全運営会社ベース^{*1})

全体的に低減傾向を維持

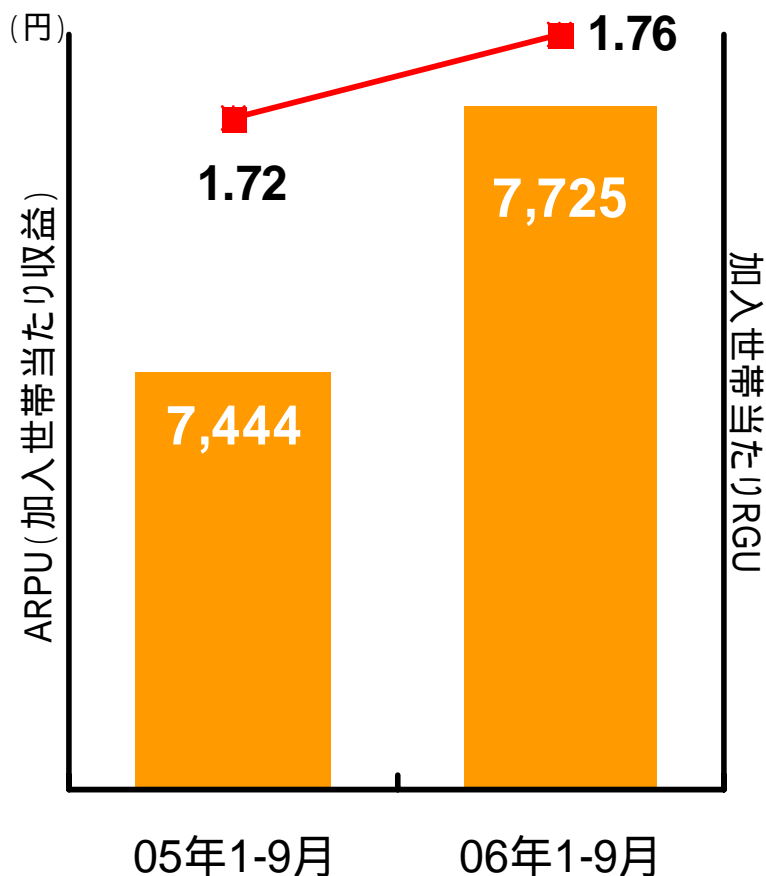


*1: 2004年は、当時資本関係のない調布ケーブルテレビジョン(株)(調布局)を除く。06年7-9月の数値にはケーブルウエストグループは含まず。

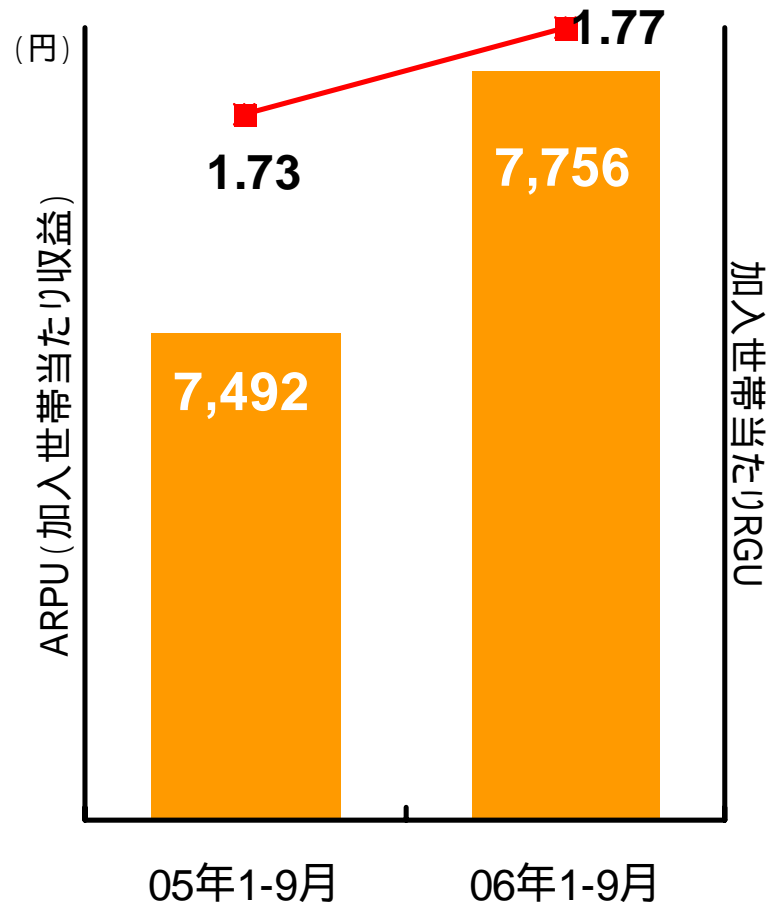
*2: 平均月次解約率=(当該期間における解約者合計)÷(当該期間の平均加入世帯数)÷(当該月数)

ARPU (加入世帯当たり月次収益) 増加とバンドル率上昇

全運営会社 (前年同期比) *1



連結運営会社 (前年同期末比) *1



*1: ケーブルウエストグループの数値は含まず。



事業戦略ハイライト

事業戦略ハイライト

Volume戦略 : 顧客基盤の拡大

- (株)ケーブルネット下関 連結化 (8月)
- ケーブルウエストグループ 取得 (9月)
- 新規施策(SOHO向けサービス等)により加入促進
- さくらケーブルテレビ(株)(J:COMすみだ)で電話開始(11月)
全エリアで3サービス体制完了

Value戦略 : ARPU向上

- HDR 7万件突破(10月)
- コンテンツ強化
 - VOD向けコンテンツ拡充、ハイビジョンチャンネル増強 他

新サービス : 商品力強化

- 100メガ超高速インターネット接続サービス フィールドテスト開始
- 「デジタル視聴率」販売開始 (8月)
- FMC(固定と携帯の融合サービス)トライアル(10月)

ケーブルウエスト取得の意義

業界シェア35%*に。一層の競争力強化を実現

1. 事業基盤拡大

- (1) 関西主要地域におけるサービスエリア・お客様基盤の拡大
- (2) 放送・通信業界におけるプレゼンスの向上

大手通信事業者、電力系事業者、衛星通信事業者等に対する競争力の強化

2. シナジー効果

- (1) 番組や資機材の共同調達
- (2) 設備の共有及び組織の共通化
- (3) マーケティング・営業手法の融合
- (4) ケーブルウエストグループへの新サービス導入
- (5) 関西全域をカバーする地域情報発信力の強化

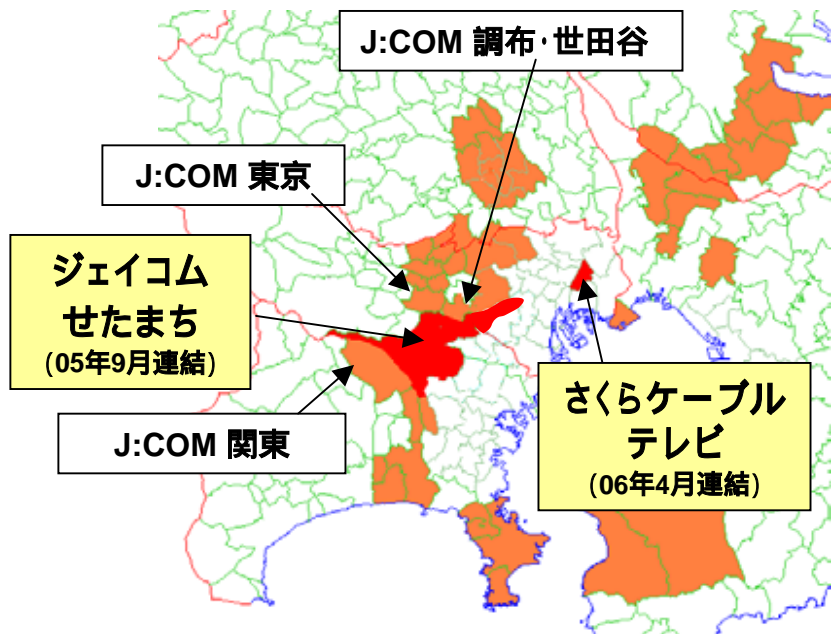
* 多チャンネルテレビ加入世帯数ベース。出所:「放送ジャーナル」2006年7月号

M&Aによる顧客基盤の拡大

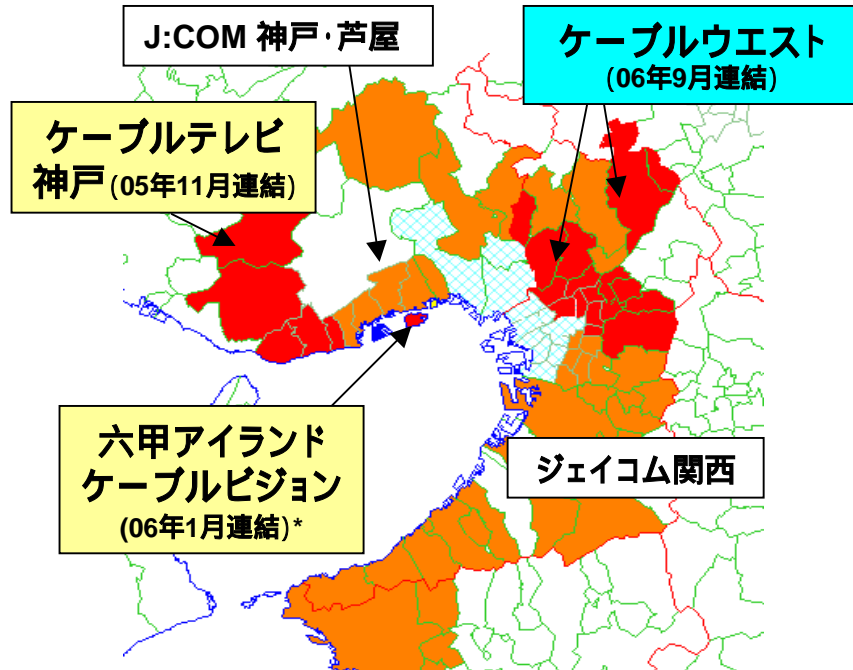
～ 05年9月以降の新規取得エリア～

 J:COMエリア

関東エリア



関西エリア



注)六甲アイランドケーブルビジョンは06年5月、ケーブルネット神戸芦屋に吸収合併

ホームパス 203万9,000世帯* 増加
(上記5社合計)

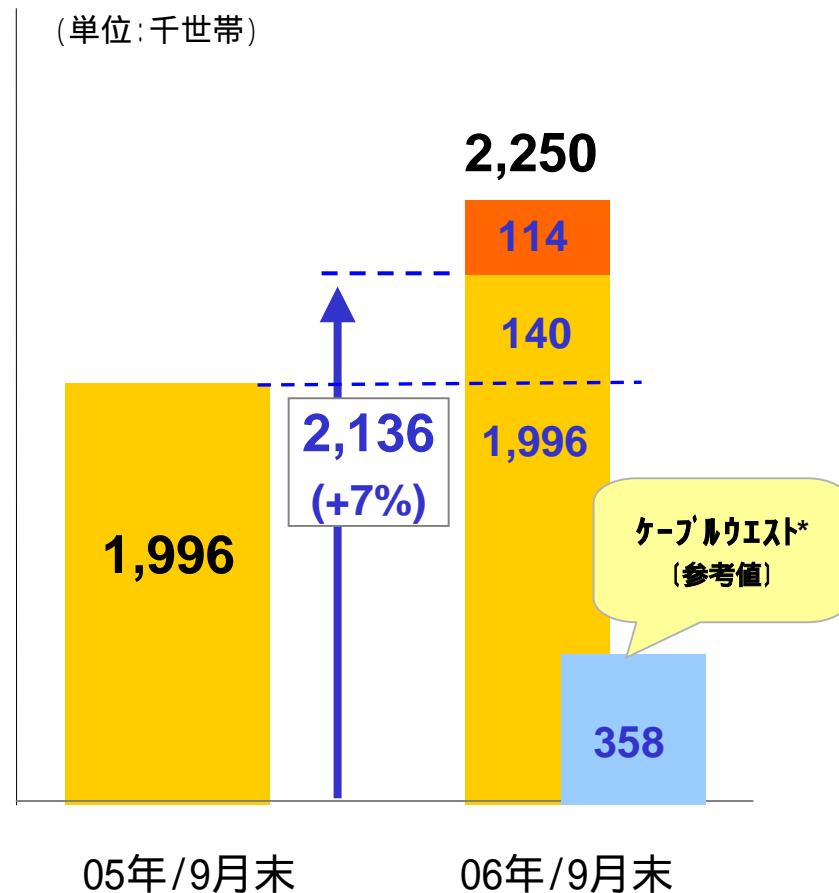
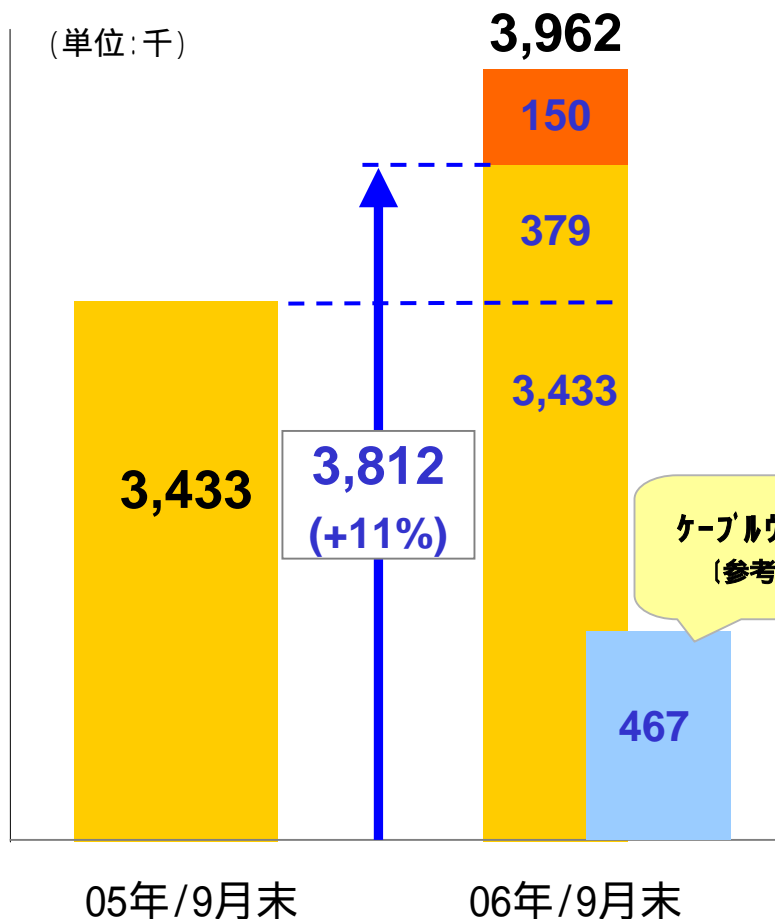
*ケーブルウエストグループについては9月末時点の同社基準による算入しておりますが、当社と算出基準が異なるため、今後変更の可能性がります。

新規エリアと既存エリアでの加入状況 (全運営会社ベース)

■ 既存エリア (株)ケーブルネット下関を含む
■ 2005年9月以降の新規取得エリア (除くケーブルウエストグループ) (ジェイコムせたまち、ケーブルテレビ神戸、さくらケーブルテレビの合計)

RGU合計

総加入世帯数



*ケーブルウエストグループについては9月末時点の同社基準による数値を表示しておりますが、当社と算出基準が異なるため、今後変更の可能性があります。

(全運営会社ベース*1)



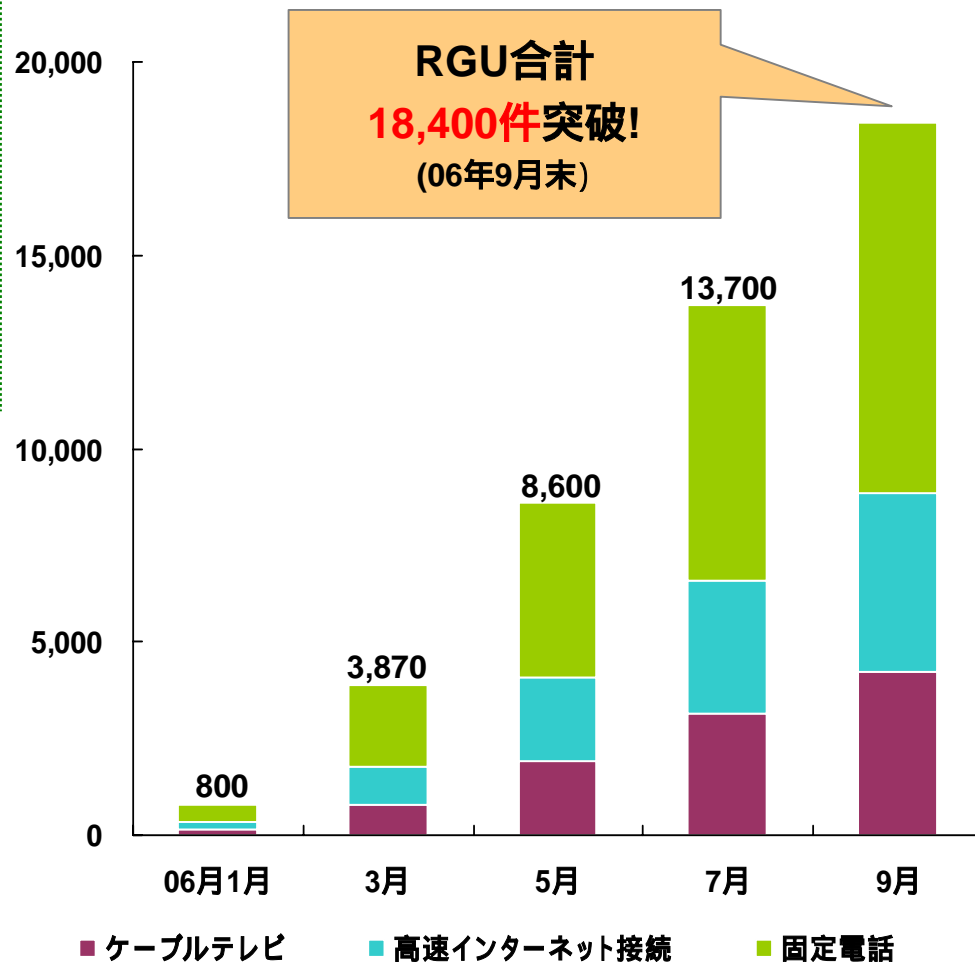
の特徴

- SOHO(9人以下の小規模事業所)向けに、事務用固定電話、高速インターネット、ケーブルテレビをパッケージ
- 事業者にとっては通信コストを削減できるメリット大
- 他事業者と差別化されたきめ細かい営業体制

今後の展開

- **取次店化の取り組み**
- ◇ SOHO顧客による紹介営業も開始
- ◇ 営業チャネル多様化
- ◇ 地域社会での信頼感やネットワークを活かして獲得推進

J:COM in the Office 契約数



(10の位四捨五入)

*1: ケーブルウエストグループの数値は含まず。

06年3月の開始以来、好調な加入推移が続く

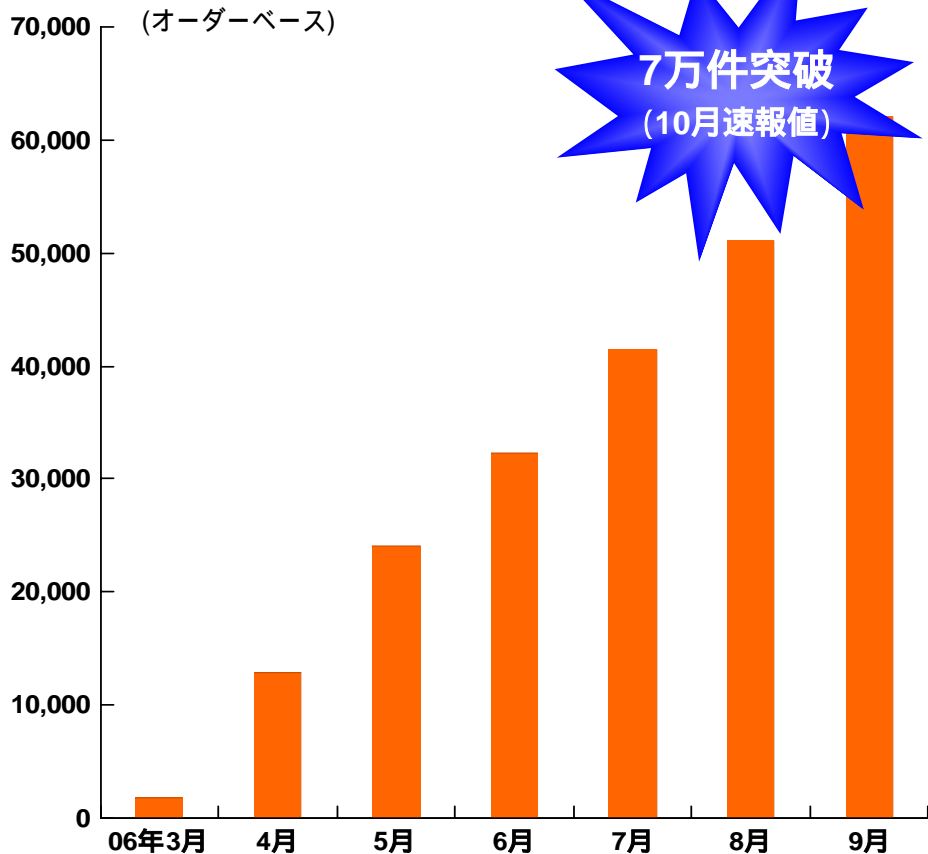
(全運営会社ベース*1)

サービスの特徴

- 250GB 大容量ハードディスク内蔵セットトップボックス(STB)
- ハイビジョン番組を、そのままの高画質で録画可能
- ダブルチューナー搭載
- タイムシフト機能等
- 追加月額800円(税込840円)

高機能、高コストパフォーマンス、高利便性を訴求

HDR 契約数



*1: ケーブルウエストグループの数値は含まず。

(全運営会社ベース*1)

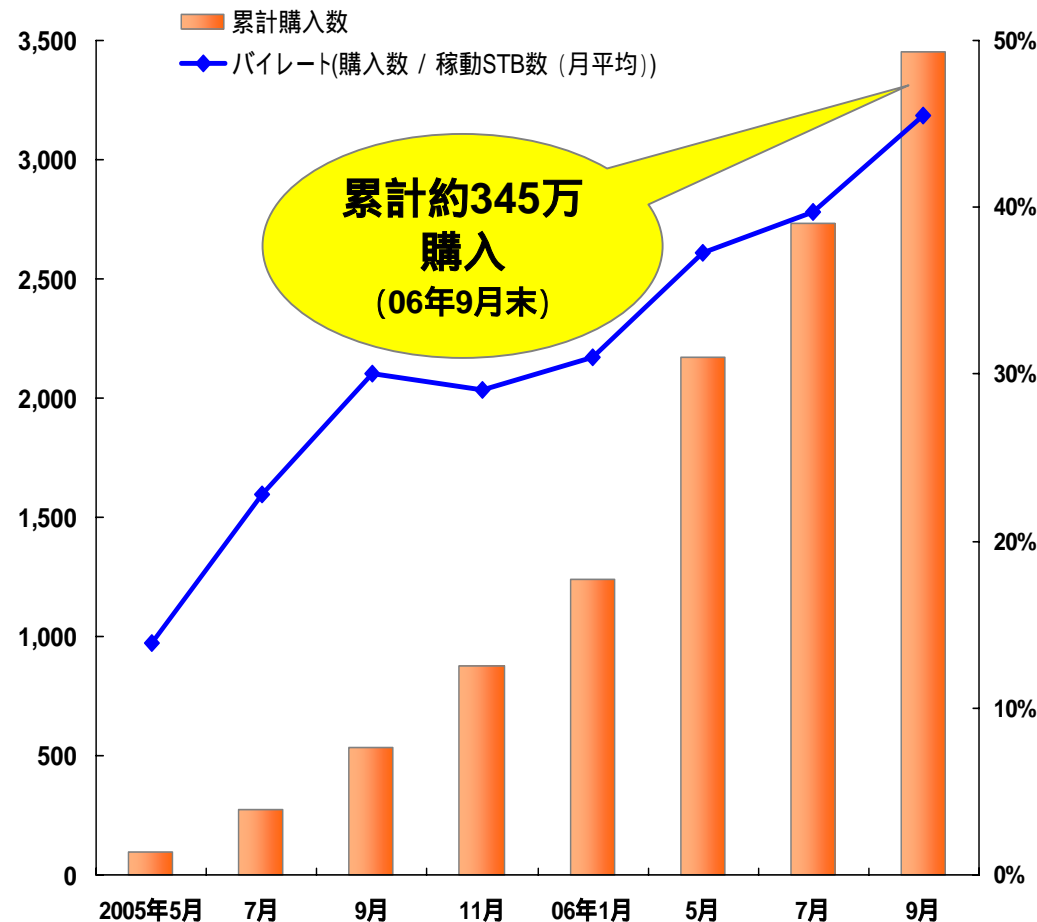
サービス概要

- 全デジタル加入者が利用可能
- 約5,400タイトル配信
- ハイビジョンコンテンツ、新作映画、人気ドラマ、アニメなど
- 1本 0円～525円
(税込 プレミアム オンデマンドの場合)

- バイレート*3(購入数 ÷ STB数)
PPV*4と合わせて **62%**
- 視聴習慣が普及の鍵
 - ◇ 設置工事時のデモ
 - ◇ 各種プロモーション 等

購入数*2 & バイレート*3

(単位:千)



*1:ケーブルウエストグループの数値は含まず。 *2: 購入数: 「プレミアムオンデマンド(POD)サービス」を利用して有料コンテンツを購入した数

*3バイレート: 有料サービスの普及利用状況を図る主要な指標の一つ。 購入頻度の目安。 *4: PPV: ペイ・パー・ビュー

コンテンツ強化による差別化徹底

高品質な番組を、他に先駆けて提供

■ ビデオ・オン・デマンド(VOD)

- タイトル5,400以上
- 映画(ハリウッド新作、話題作等)
- ハイビジョンコンテンツ
- 無料コンテンツ充実

VODコンテンツの一部(洋画)



■ ハイビジョンチャンネル 拡充

- ムービープラスHD 8月開始
- ディスカバリーHD
- Fox Life HD
- スターチャンネル ハイビジョン

ハイビジョンチャンネル



■ ベーシックチャンネルも更に強化

- 韓流チャンネル「KBS World」
10月開始



韓国で放映中のドラマ「ミスター・グッバイ」©KBS

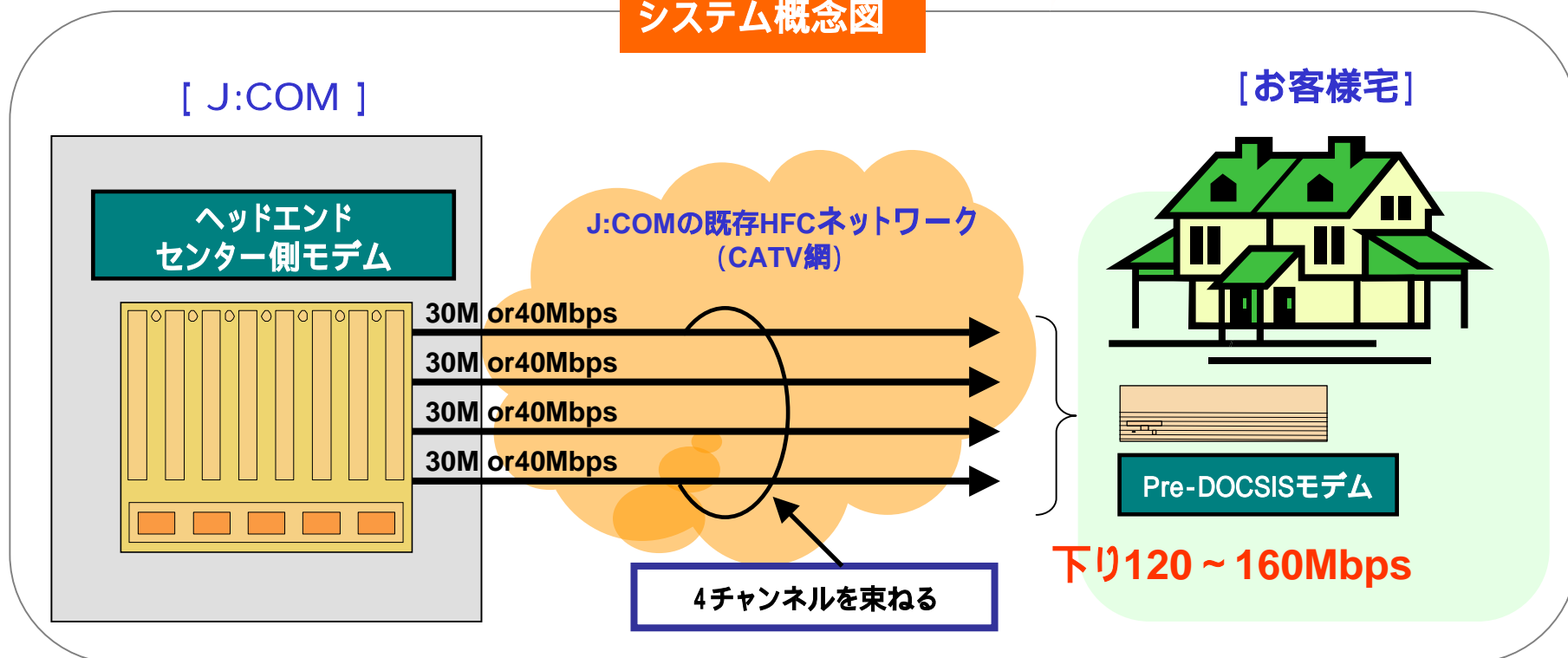
戸建向け 100メガ超の高速インターネット接続サービス

意義・概要

- 大規模集合住宅向け100メガ(05年7月から提供中)に加え、一戸建て・小規模集合住宅向けの100メガ超サービス
- チャンネル・ボンディング技術を活用 (Pre-DOCSIS3.0)
- 2006年8月～、フィールドトライアル実施(札幌、杉並)

2007年
早期の商用化へ

システム概念図



ケータイサービス「J:COM MOBILE」

(全運営会社ベース^{*1})

サービスの特徴

- (株)ウィルコム定額プランを「J:COMブランド」で提供
- 月額基本使用料 2,500円
(税抜・当社サービスとのバンドル加入)
- J:COM PHONEとの相互通話割引
- ウィルコムユーザとの通話無料
- ワンビリング、ワンストップショップ

加入者の特徴

- 50%が50歳以上 (9月末時点)

他事業者が取り切れていないシニア層
を獲得

= J:COM地域密着対面営業の強み

J:COM MOBILE 契約回線数



^{*1}: ケーブルウエストグループの数値は含まず。

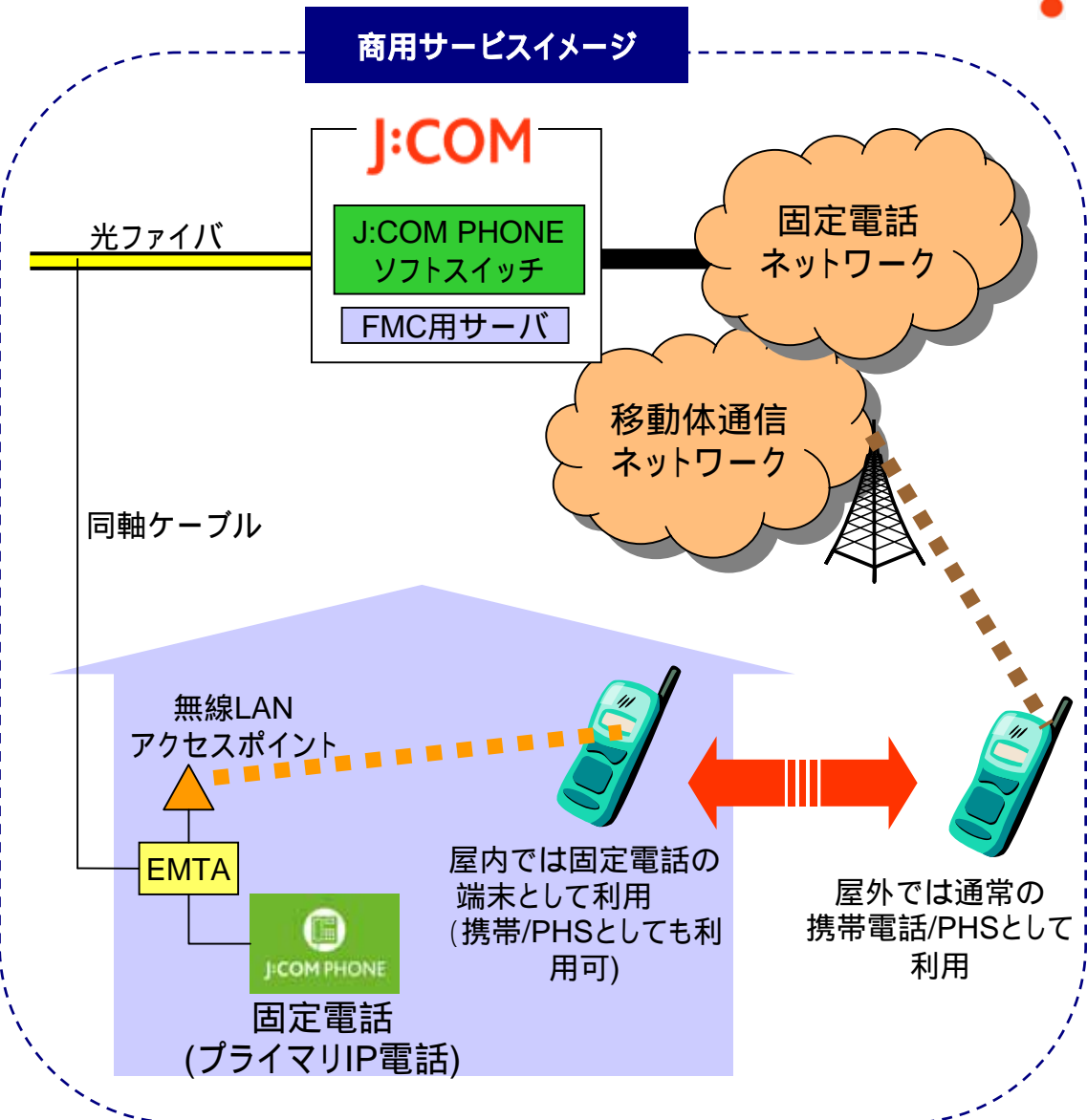
FMC(固定と携帯の融合サービス) トライアル

概要

- 日本初の本格的な家庭向けFMCサービス
- 屋内ではコードレスホン子機として使用
- 屋外では通常の携帯/PHSとして利用
- キャリアフリー(移動体通信事業者の種別に依存しない)

2006年10月～
トライアル開始

早期の商用化実現へ



「エルダーいきいきプロジェクト」 団塊の世代向けエルダーマーケティング

地域密着の強みを活かしCS向上とファンづくり

- エルダー層(50歳以上)顧客に、地域での活躍の場を提供
- 地域活動をJ:COMが「街の掲示板」として支援
- ◇ 地域におけるJ:COMブランドの認知度・信頼性アップ
- ◇ お客様満足度、ロイヤリティ向上
- ◇ 「くちコミマーケティング」への発展



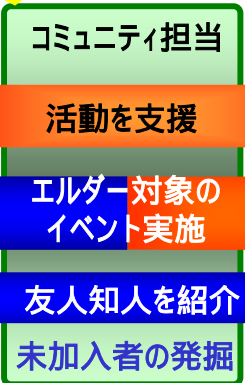
局舎を地域活動に開放

「もったいない風呂敷」教室開催の様様 (J:COM宝塚・川西)

エルダー顧客に地域での情報発信源としての役割を期待



自社メディアや局舎を開放



コミュニティチャンネルやウェブサイト等を告知・発表の場として活用

「インタラクTV」サービスで地域情報提供

きめ細かい地域情報提供で差別化

デジタル加入者の
20～25%が利用中！



- デジタルの双方向性を活用したインターネットとテレビの融合サービス
- テレビのリモコン操作のみで検索可
- 天気、ニュース、ゲーム、J:COMサービス等のコンテンツラインナップ
- 地域情報充実
- 追加料金不要

地域情報の例



【防犯情報】(大阪府)
警察提供の防犯情報をリアルタイムで表示。365日24時間自動対応。



【商店街お買得情報】
毎週更新。地域イベント情報や特典情報なども掲載。



【河川防災情報】(大阪府)
河川水位の情報を10分おきに表示。



2006年通期 業績見通し

2006年通期 連結業績予想の変更

[米国会計基準]

CW: ケーブルウエストグループ

(単位: 億円)	05年通期実績	06年通期予想				06年通期予想の前提	
		前回予想	今回予想			CW	CWに関わる 連結調整
		CW含まず	CW含まず	CW含む	前期比	06/10-12	06/10-12
営業収益	1,831	2,200	2,152	2,210	21%	63	5
営業利益	245	315	315	315	29%	5	5
税引前利益	167	270	275	275	65%	5	5
純利益	193	185	195	195	1%	4	4
OCF	700	前期末比10%台 半ばの伸び		前期末比20%台前後の伸び			

(注) 上記今回予想値 = + +

•OCF(オペレーティングキャッシュフロー) = 営業収益 - 番組・その他営業費用 - 販売費及び一般管理費

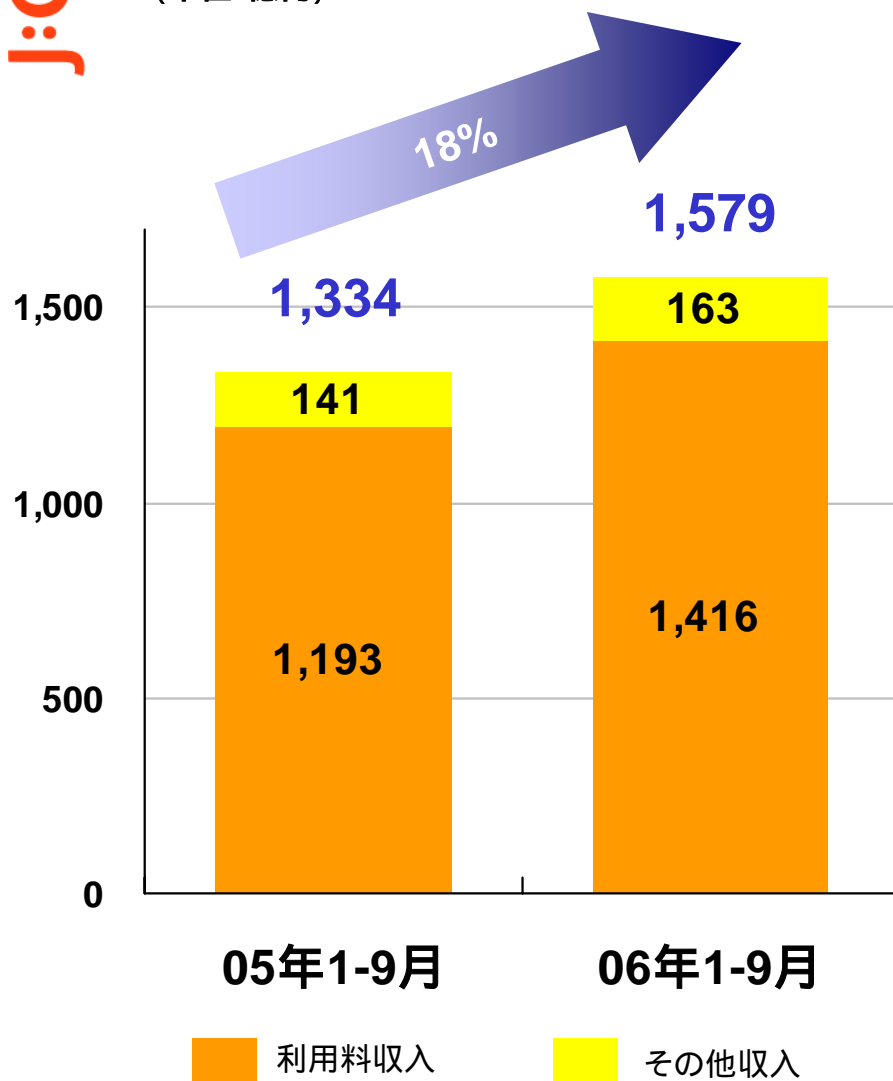


連結業績の財務面について

連結営業収益

[米国会計基準]

(単位:億円)



補足説明

利用料収入 1,416億円 (+19%)

[内訳]

ケーブルテレビ 734億円(+110億円、+18%)

高速インターネット 422億円(+77億円、+22%)

電話 261億円(+36億円、+16%)

[理由]

- 加入世帯の増加
- デジタルユーザの増加
- 30Mbps加入者割合の増加
- 新規連結子会社分の増加

その他収入 163億円 (+16%)

M&Aに伴う電障収入の増加

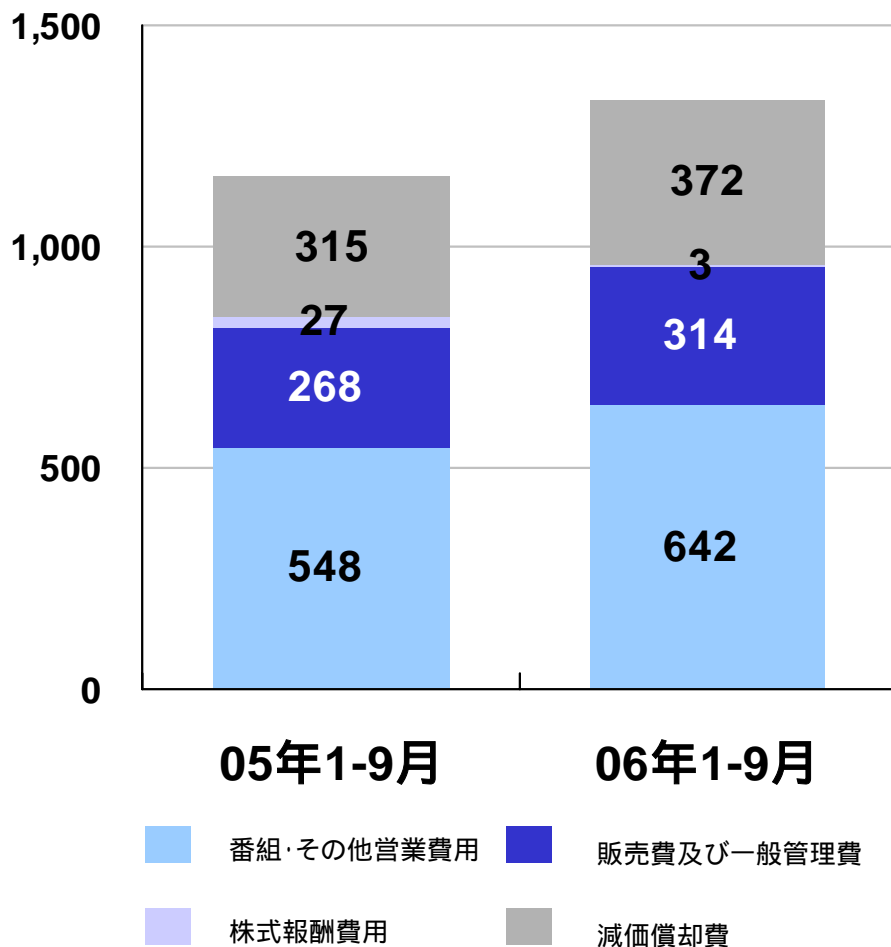
広告収入、番組制作収入、手数料収入等

注) 上記数値にはケーブルウエストグループの数値は含まず。

連結営業費用

[米国会計基準]

(単位:億円)



補足説明

- 番組・その他営業費用 (+17%)**
 - 顧客増に伴う番組購入費や接続料の増加、デジタル関連費用の増加
 - 買収による費用増
- 販売費・及び一般管理費 (+17%)**
 - 買収に伴う増加
 - 広告宣伝費は減少
- 株式報酬費用 (89%)**
 - 米国会計基準上の変更に伴い減少
- 減価償却費 (+18%)**
 - 買収案件による増加
 - 新規顧客への設置機材やネットワーク拡張・広帯域化による増加

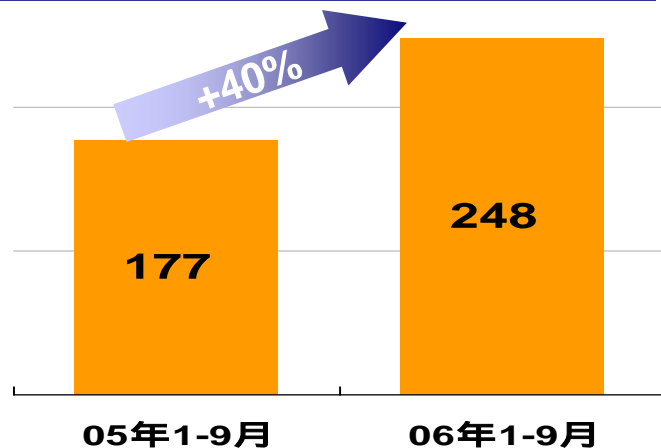
注)上記数値にはケーブルクエストグループの数値は含まず。

営業利益、税引前利益、第3四半期純利益

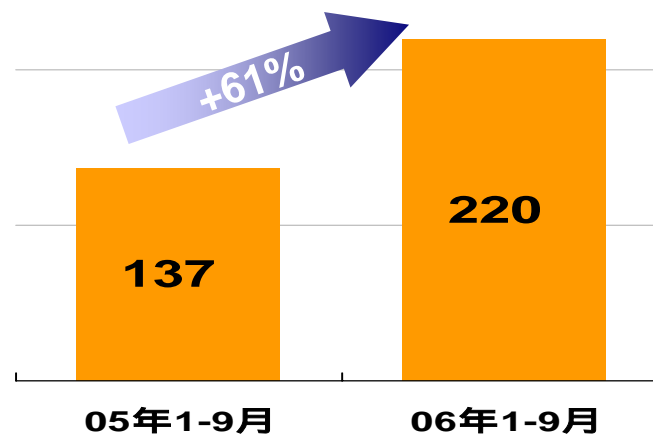
[米国会計基準]

(単位:億円)

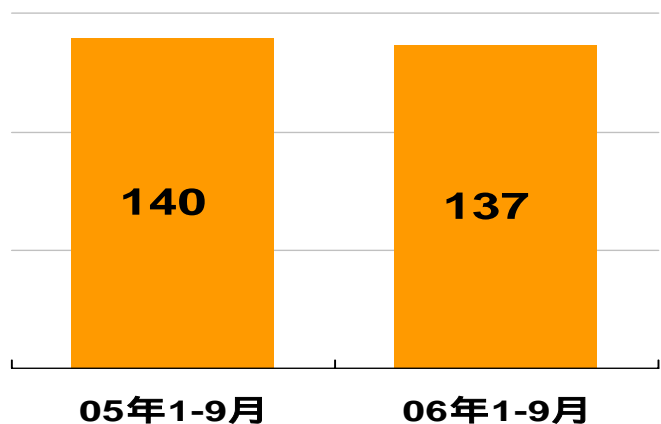
営業利益



税引前利益



当四半期純利益



補足説明

支払利息 16億円減少、39%
 41億円(05Q3) 25億円(06Q3)
 ・05年12月のリファイナンスにより支払金利が大幅に低下したこと等による有利子負債の減少

法人税等 84億円 (87億円の増加)

注)上記数値にはケーブルウエストグループの数値は含まず。

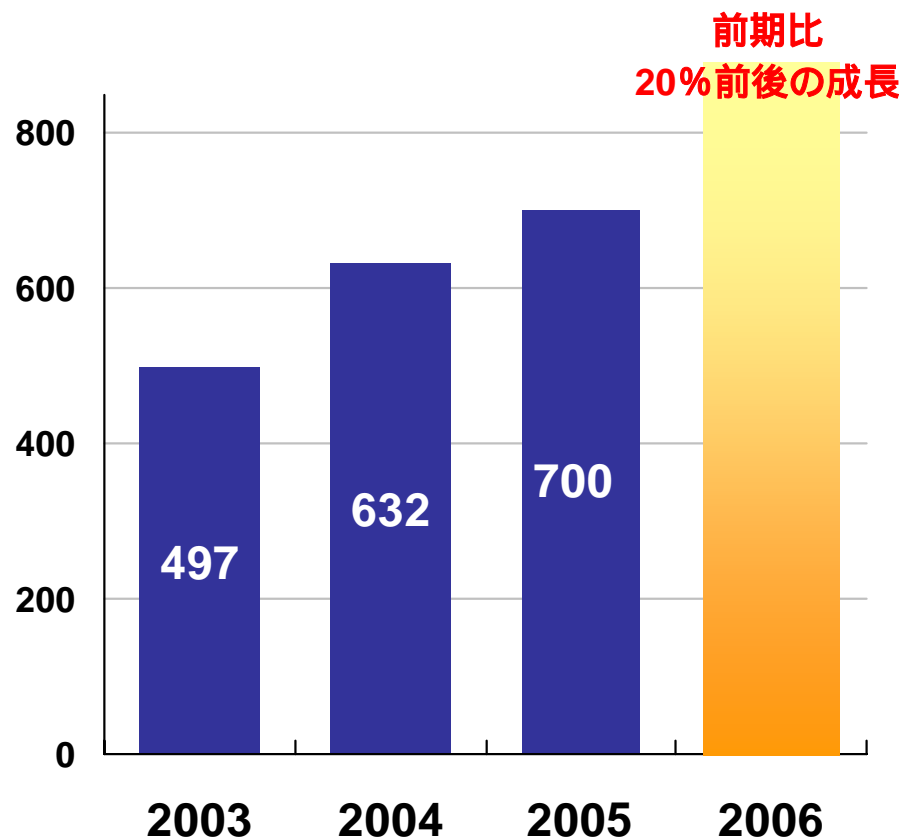
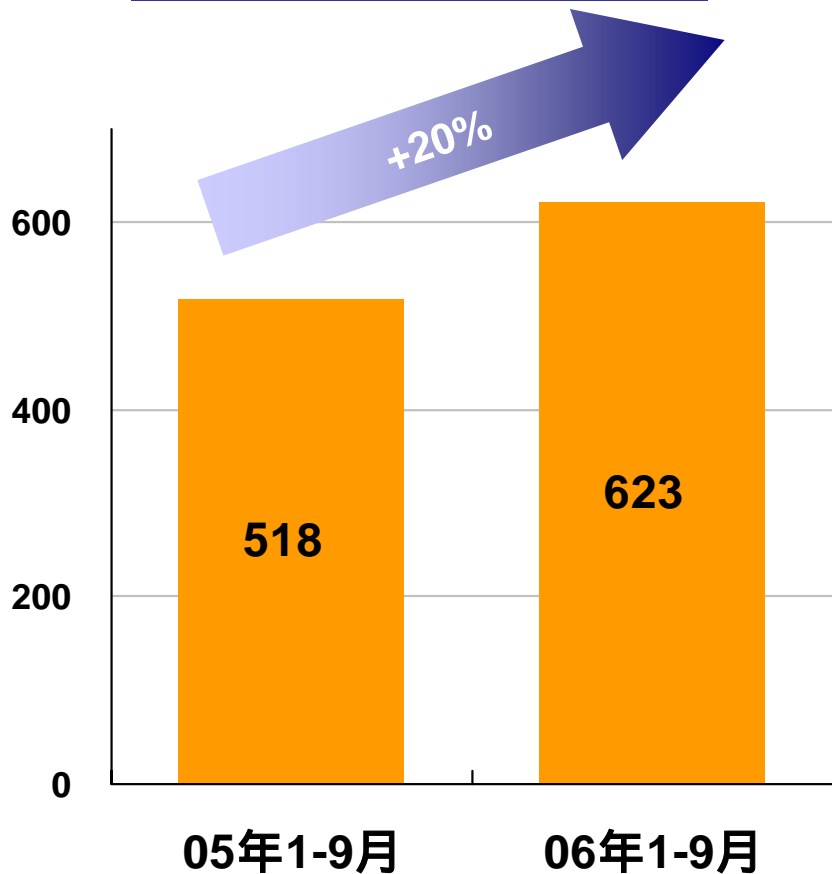
OCF*

(単位:億円)

[米国会計基準]

前年同期比

参考:年間推移と見通し



* OCF(オペレーティングキャッシュフロー) = 営業収益 - 番組・その他営業費用 - 販売費及び一般管理費

注) 上記数値にはケーブルウエストグループの数値は含まず。

営業収益・OCFの分解（既存/新規）

[米国会計基準]

(単位:億円)	既存連結会社	新規連結会社	連結合計
営業収益	1,496	83	1,579
OCF	593	30	623

OCF(オペレーティングキャッシュフロー) = (営業収益) - (番組・その他営業費用) - (販売費及び一般管理費)

既存連結会社:

2005年8月末時点の連結子会社18社(ケーブルテレビ運営会社15社、その他3社)

新規連結会社:

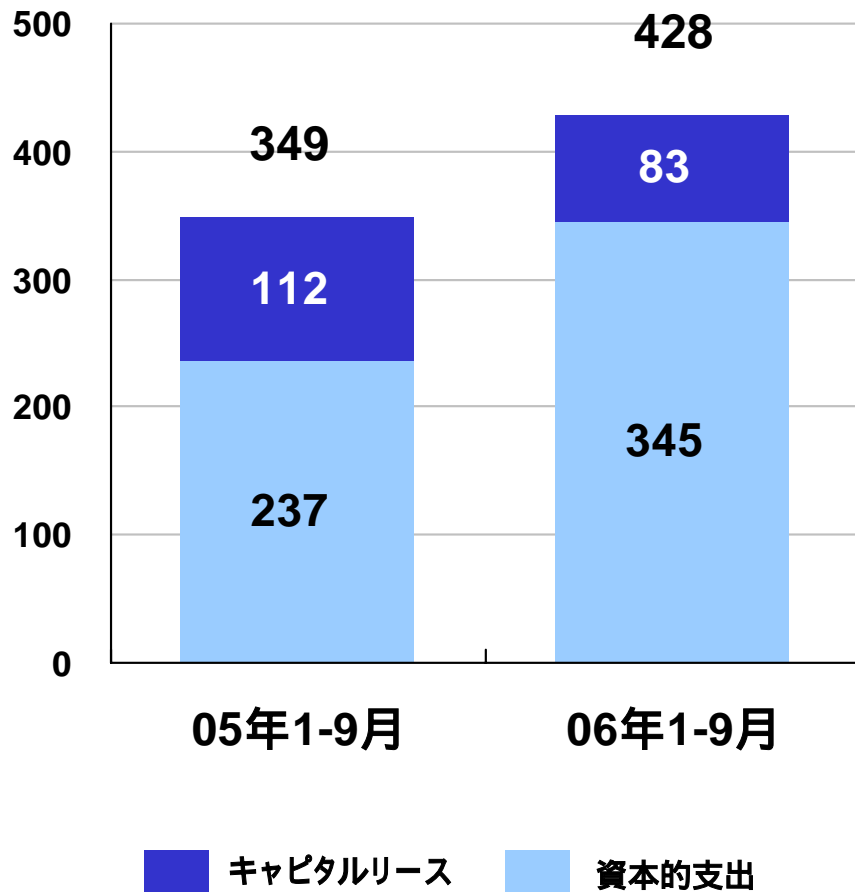
2005年9月以降連結対象となった5社(株)ジェイコムせたまち、(株)ケーブルテレビ神戸、さくらケーブルテレビ(株)、関西マルチメディアサービス(株)、(株)ケーブルネット下関)の合計

注)上記数値にはケーブルウエストグループの数値は含まず。

設備投資 (連結)

[米国会計基準]

(単位:億円)



補足説明

資本的支出 +108億円、+46%

- 顧客増に伴う設置工事費用の増加
- 取得エリアでの幹線広帯域化
- デジタル関連設備
- VoIP(プライマリIP電話)設備

キャピタルリース 29億円、26%

- セットトップボックスの単価下落等

注)上記数値にはケーブルウエストグループの数値は含まず。

連結キャッシュ・フロー

[米国会計基準]

(単位:億円)	06年 1 - 9月	05年 1 - 9月	補足説明
営業活動によるキャッシュフロー	525	429	OCF 623億円
投資活動によるキャッシュフロー	970	412	資本的支出345億円 新規及び既存子会社株式取得 633億円等
フリーキャッシュフロー ^{*1}	97	80	
財務活動によるキャッシュフロー	191	259	長期借入金の増加(761億円)、 長期借入金及びキャピタルリースの 元本支払(-563億円)等

*1: フリーキャッシュフロー = (営業活動によるキャッシュフロー) - (キャピタルリースを含む設備投資額)
注) 上記数値にはケーブルウエストグループの数値は含まず。

参考資料 Appendix



当四半期に新たに連結したケーブルテレビ会社の状況

(2006年9月末時点)

(株)ケーブルネット下関

(2006年8月連結)

総加入世帯数	28,200
RGU合計	51,000
CATV	25,900
うちデジタル	8,200
高速インターネット	10,600
固定電話	14,500
ホームパス	76,800

参考: ケーブルウエスト(株)*

(2006年9月連結)

総加入世帯数	357,800
RGU合計	466,500
CATV	324,800
うちデジタル	148,900
高速インターネット	125,700
固定電話	16,000
ホームパス	1,397,700

*ケーブルウエスト(株)のオペレーショナル数値は算出方法が当社と異なるため、参考値として掲載しています。

バンドル化の進展

(全運営会社ベース*)

全体の半数以上が複数サービス加入世帯

J:COM TV J:COM NET J:COM PHONE

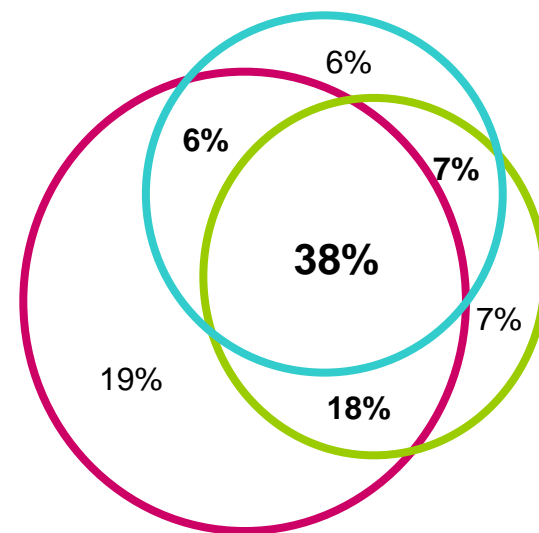
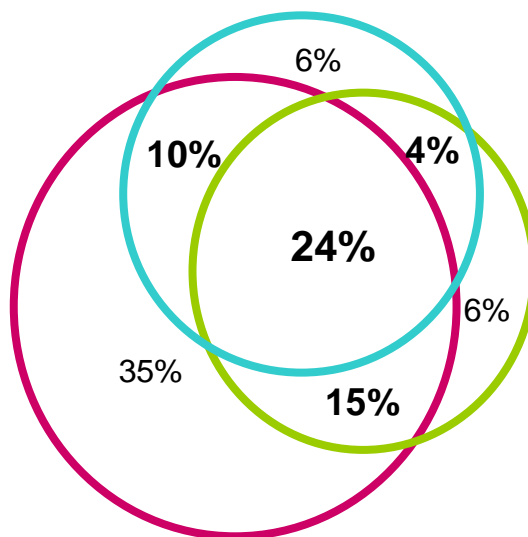
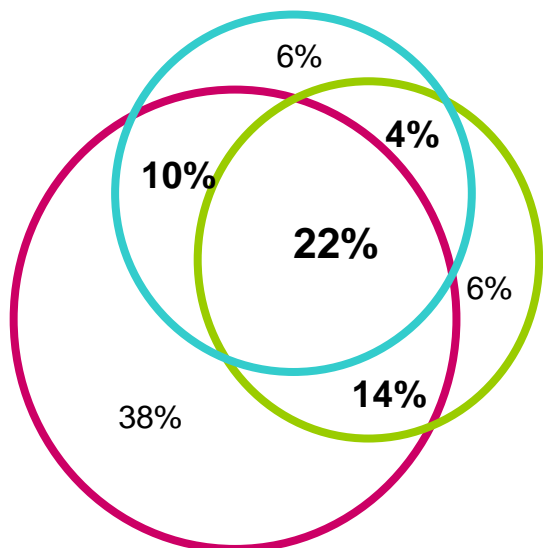
全運営会社

J:COM関東 東関東

05年9月末

06年9月末

06年9月末

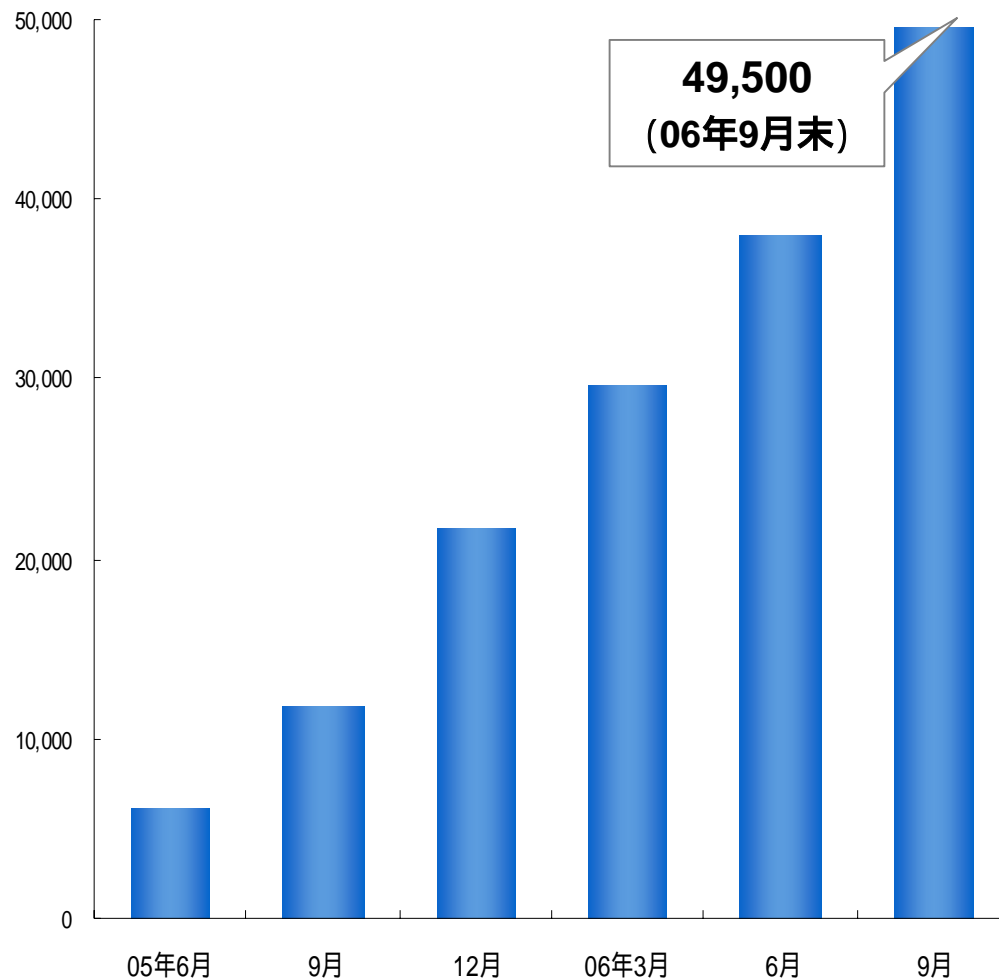


*1:ケーブルウエストグループの数値は含まず。

プライマリIP固定電話サービス

(全運営会社ベース*1)

プライマリIP電話 加入世帯数



49,500
(06年9月末)

【展開エリア 拡大中】

- 2005年 4月 ジェイコム札幌
- 10月 ジェイコム関西(南大阪)
- 11月 調布ケーブルテレビジョン
- 2006年 3月 ジェイコムせたまち
- 6月 ジェイコム群馬
- 7月 ケーブルテレビ神戸
- 7月 ジェイコム神戸芦屋
- 11月 さくらケーブルテレビ(予定)

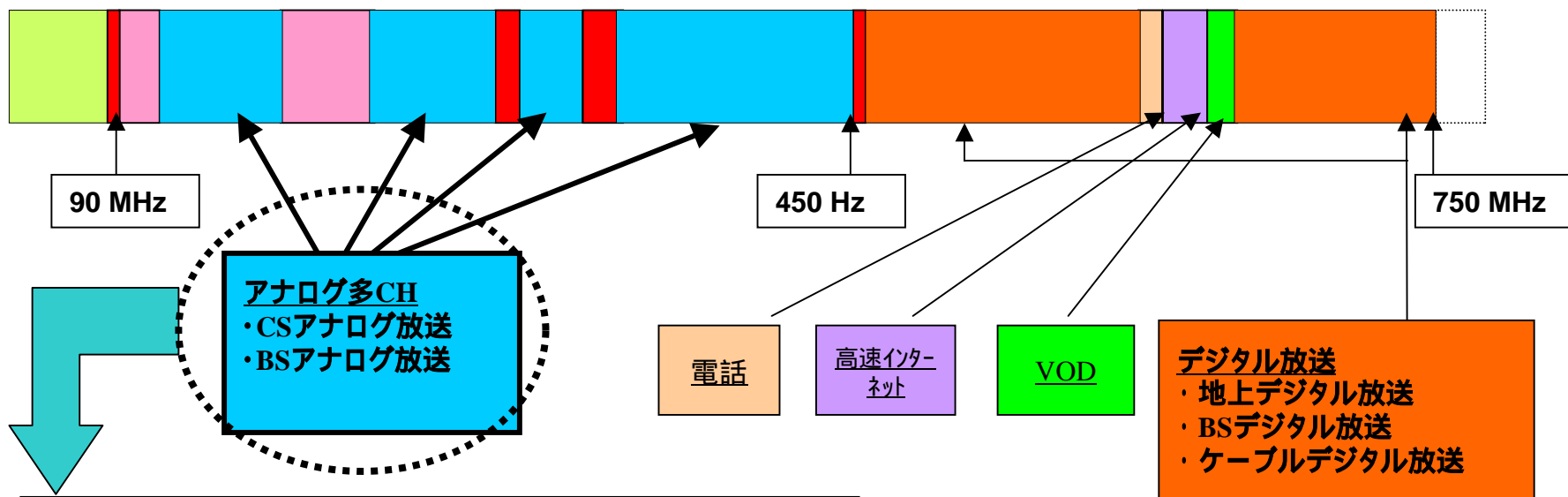
【今後のスケジュール】

既存エリアにも順次、IP技術での電話サービスを提供予定

*1:ケーブルクエストグループの数値は含まず。

デジタル化戦略 ~ 2008年までにデジタル化100% ~

2006年3月現在の周波数利用状況



デジタル化率100%が達成されれば

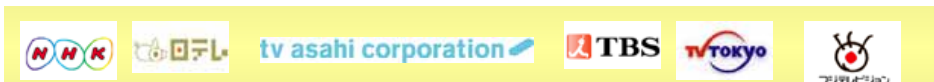
- 追加HDチャンネル
- VODの高度化サービス(HD・NDRなど)
- IPTV
- 超高速インターネット(DOCSIS 3.0)
- プライマリーVoIP
- FMC

帯域を活用し、
高付加価値の新しいデジタル
サービスを提供可能！

「J:COM TV デジタル」サービスの概要

J:COM TV デジタル <¥4,980/月 (税込¥5,229)>

地上デジタル放送



BS デジタル放送



デジタル基本チャンネル



ペーパービュー

ビデオ オンデマンド



EPG(電子番組表)



インタラクTV

デジタルプレミアチャンネル



シンプル・ベストな
デジタルパッケージ




- 全プラットフォーム (地上・BS・CS)
- 高画質・高音質 (ハイビジョン)
- 双方向サービス
- J:COM 独自サービス

注: 黄色の枠組みは、ハイビジョンチャンネル

サービス料金表











月額基本料金

(税金を除く)

	J:COM TV	デジタル・・・	¥ 4,980
		アナログ・・・	¥ 3,980
	J:COM NET	30M・・・	¥ 5,500
		8M・・・	¥ 4,980
	J:COM PHONE	・・・	¥ 1,330
	J:COM MOBILE	・・・	¥ 2,500
	powered by WILLCOM		

オススメパック利用料金

(税金を除く)

	デジタル +		30M +		+		=	¥ 12,890	¥ 1,682 割引 (税込)
<small>J:COM TV</small>		<small>J:COM NET</small>		<small>J:COM PHONE</small>		<small>J:COM MOBILE powered by WILLCOM</small>			
	デジタル +		30M +		=			¥ 10,390	¥ 1,491 割引 (税込)
<small>J:COM TV</small>		<small>J:COM NET</small>		<small>J:COM PHONE</small>					
	デジタル +		8M +		=			¥ 9,960	¥ 1,397 割引 (税込)
<small>J:COM TV</small>		<small>J:COM NET</small>		<small>J:COM PHONE</small>					

このプレゼンテーションに記載された当社の財務情報は、米国会計基準に基づき計算されたものであります。

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

J:COM